

和光市食育推進計画

～食が育む元気なところとからだ～

(平成22年度～26年度)

- 概要版 -



「食育」とは

様々な学習や体験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人を育てることです

和光市の食育の現状

全てのライフステージに応じた食育の取組が必要です

現在、食育の取組は、子どもを対象とするものが中心となっています。しかし、その他の世代でも、食生活習慣の乱れなどの課題があります。

学び・体験が日常生活に活かされるような取組が必要です

食育に関連する様々な講座・体験の場があります。個別に行っている取組をつなげることで、より日常生活に活かしやすくなります。

食育に関する情報が求められています

食育に関する情報は、市民の暮らしに役立つことはもちろん、団体などの活動を更に活発にするきっかけになります。

計画の目指す姿

将来像

食が育む元気なところとからだ

基本目標 1



健康的な食生活習慣を
みんなで実践しているまち

施策

- 乳幼児と保護者の食育の推進
- 児童・生徒の食育の推進
- 成人の食育の推進
- 高齢者の食育の推進

基本事業(一部)

親子料理教室

朝食の大切さと親子で料理する楽しさを体験する機会を提供する。



メタボ対策実践講座

メタボリックシンドロームの改善と予防のための、生活習慣(栄養・運動)について学ぶ。



基本目標 2



生産から食卓までの
つながりを感じられるまち

施策

- 地産地消の推進
- 農環境の保全
- ふれあい農業の推進

基本事業(一部)

保育園での 農業体験の推進

野菜等の栽培・収穫を通じて、食材に親しむ農業体験を実施する。



農産物直売センター、 庭先販売の促進

農業者が行う直売、庭先販売の施設設置を支援する。



基本目標 3



日々の暮らしに活用できる
情報が身近にあるまち

施策

- 食文化の伝承
- 食の安全に関する情報提供
- 食や食育に関する情報や体験の機会の提供
- 食育の担い手の支援

基本事業(一部)

米飯給食の推進や、 行事食・伝統食の継承

日本の食文化を取り入れた給食や、行事食・伝統食などの料理体験を推進する。



食や食育に関する 情報提供の推進

広報や市のホームページで、食や食育に関する情報を提供し、市内の食育の取組を活性化する。



計画の数値目標

平成21年度 現状値
(18歳以上の市民)

平成26年度
目標値

よい食生活を送れていると思う割合

58.6%

80.0% 以上

食育に関心がある割合

80.0%

90.0% 以上

朝・昼・夕と規則正しく食事をする割合

72.1%

85.0% 以上

朝食をほとんど食べない割合

小学生 1.2%
中学生 2.8%

1.0% 未満
1.0% 未満



朝食を食べている割合

80.9%
(20歳代の市民 64.3%)

90.0% 以上
(75.0% 以上)

主食・副菜・主菜をそろえて食べている割合

63.4%

85.0% 以上

野菜を十分にとっている割合

50.8%

80.0% 以上



意識的に運動をしている割合

37.8%

60.0% 以上

地産地消を取り入れている割合

32.3%

50.0% 以上



生産から消費までの流れを理解している割合

19.5%

35.0% 以上

食品の安全性について理解している割合

41.9%

60.0% 以上

食育に関する自主的な活動に
参加している・参加したことがある割合

5.0%

10.0% 以上